

## 8 鎌倉市子ども・若者育成プラン原案に対する意見一覧

NO.	提出日	内容	年代	性別	提出方法	対応と鎌倉市としての考え方	分野
1	23.4.26	家族のきずなの大切さを盛り込んでもらいたい。	70代	男性	ファックス	プランの理念では「子ども・若者は、親や教師・地域の大人に習い、また、仲間を大切にします。」「大人は、市民としての、親としての責任を自覚し、子ども・若者の手本となります。」と述べており、子ども・若者は親を尊重し、大人は親としての責任と自覚を持つことを求めています。このことから、ご指摘の「家族のきずなを大切にすること」を前提とした理念を盛り込んでいると考えます。	理念
2	23.4.29	主として小学生・中学生を対象としたプランについて提案します。私は、彼等にもっと自然との関わり合いを継続的に体験させることが不可欠と考えております。幸い鎌倉市には、中央公園や梶原の野村総合研究所跡地を始め、最近では旧鎌倉園などの自然環境に恵まれた場所があります。これらの場所に、前述の自然との関わりを体験できる場を設けてはどうかでしょうか。	不詳	男性	メール	鎌倉市では、平成16年度から「一日冒険遊び場」を実施しています。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに子ども達が自然の中でのびのびと遊ぶことを目的として、野村総合研究所跡地(暫定的利用)や鎌倉中央公園などの公園や空き地などを利用し、日ごろ触れる機会のない工具や火などを使って遊びます。 この事業は、「鎌倉市次世代育成きらきらプラン」の後期計画事業の一つで、「かまくら子育て支援グループ懇談会」という鎌倉市内の子育て支援団体などで組織された団体に委託し、プレーリーダーと一緒に遊びを見守ったり、遊びのきっかけ作りを行っています。 現在は不定期に、月1回程度の開催で、主に幼児から小学校低学年生が参加していますが、今後は拠点となる公園の検討や定期的な開催を目指し、また、幅広い年齢層が参加したいと思える仕掛けづくりなど検討していきます。	目標 1
3	23.4.26	世代間交流の場として野村跡地を活用していただきたい。	70代	男性	ファックス	鎌倉市では、平成16年度から「一日冒険遊び場」を実施しています。「自分の責任で自由に遊ぶ」をモットーに子ども達が自然の中でのびのびと遊ぶことを目的として、野村総合研究所跡地(暫定的利用)や鎌倉中央公園などの公園や空き地などを利用し、日ごろ触れる機会のない工具や火などを使って遊びます。 現在は不定期に、月1回程度の開催で、主に幼児から小学校低学年生が参加していますが、今後は拠点となる公園の検討や定期的な開催を目指し、また、幅広い年齢層が参加したいと思える仕掛けづくりなど検討して、世代間交流の場としての活用も考えていきます。	目標 2
4	23.4.26	各小中学校に退職教員等を充てた放課後子ども教室を作ってほしい。	70代	男性	ファックス	放課後子ども教室において、退職教員等がボランティアとして活動することは可能です。放課後子ども教室は現在小学校で実施しており、拡大の可能性についても検討していますが、教室開催に向けては、開催場所等の施設面や開催時間における学校側との調整、地域の教育力の活用や保護者の協力等の課題があります。 また、本年度より新学習指導要領が完全実施され、各校の行事・日課等が変更されているため、各校の現状を踏まえて検討していきたいと考えています。	目標 2
5	23.4.30	放課後対策事業については、市役所内のいろいろな課がばらばらに所管するのではなく、統合し、子育てをひとつのプロジェクトとして全児童を対象に、放課後の居場所を確保していただきたいと思えます。	40代	女性	メール	現在、鎌倉市では放課後児童健全育成事業いわゆる学童クラブは子ども会館と併設している中で未就学児童も活用できるよう子育て支援策の一つとして青少年課が行っています。一方、放課後子ども教室は小学校内で展開するため、生涯学習課が実施しております。今後、全児童を対象とした放課後児童対策は、教育委員会等関連機関とともに、板橋区などの先進都市の事例を研究し、検討してまいります。また、ニーズ調査の実施も重要と考えます。	目標 2

6	23.4.22	目標3「鎌倉の自然・歴史・文化とかかわりながら、鎌倉を愛する心を育てよう」の説明文部分の「また、まちづくりにおける子ども・若者の参加を盛んにすることも必要です。これら子ども・若者のまちづくりへの参画を進める施策の推進を図ります。」を「また、まちづくりにおける子ども・若者の参加を盛んにすることも必要です。これら子ども・若者のまちづくりへの参画を進める施策の推進を図り、郷土・鎌倉を愛する心の育成に努めます。」に変更してください。	70代	男性	メール	目標3の「鎌倉の自然・歴史・文化とかかわりながら、鎌倉を愛する心を育てよう」の説明文部分について、最後の「これら子ども・若者のまちづくりへの参画を進める施策の推進を図ります。」を「これら子ども・若者のまちづくりへの参画を進める施策の推進を図り、郷土・鎌倉を愛する心の育成に努めます。」に変更してほしいとのご提案については、目標3の主眼は「鎌倉を愛する心を育てよう」であることから、ご提案のとおり、変更いたします。	目標 3
7	23.4.22	目標3「鎌倉の自然・歴史・文化とかかわりながら、鎌倉を愛する心を育てよう」において、取組み事業として3-2-3(事業名:緑のレンジャー(ジュニア)の育成)と3-2-6(事業名:鎌倉の歴史・文化を学習し、鎌倉への愛着と誇りを醸成する機会の提供)の2項目の具体的新事業が追加されたことは評価に値します。	70代	男性	メール	評価をいただきありがとうございます。	目標 3
8	23.4.26	鎌倉の歴史と文化を学ぶというなら鎌倉幕府の作り出した武士の文化が日本人の道徳観のルーツとなった「正義と思いやり」「勤勉と節約」といった精神を市民全員に自覚させるよう要望します。	70代	男性	ファックス	プランでは、目標3「鎌倉の自然・歴史・文化とかかわりながら、鎌倉を愛する心を育てよう」の主要な取組み2「鎌倉の歴史・文化を学習することによる郷土愛の育成」において鎌倉の歴史や文化を学習する取り組みがあり、その中で鎌倉時代の武士を含めた人々の考え方を学習することができると考えます。また、「正義と思いやり」「勤勉と節約」の精神については、学校を含めた学習の場で思いやりや勤勉を伝える取り組みがなされています。さらに、他人を思いやることの大切さについては、講演会の開催等により学習する機会の提供を考えております。	目標 3
9	23.4.26	核家族化の弊害を認識し、二世・三世同居の住宅を作ることを推奨する政策を盛り込んでほしい。	70代	男性	ファックス	核家族化の弊害は認識しておりますが、ご要望の施策は住宅施策の分野となります。鎌倉市の住宅政策の方向性を示すものとして「第2次鎌倉市住宅マスタープラン」を策定しておりますが、平成23年度は見直しの時期となり、ご要望の施策は今後の課題として検討してまいります。	他
10	23.4.26	鎌倉市子ども・若者育成プラン策定委員会と青少年問題協議会は発展解消し、新たなメンバーで実行委員会を作してほしい。	70代	男性	ファックス	鎌倉市子ども・若者育成プラン策定委員会や既存の青少年問題協議会とは別に新たな組織で鎌倉市子ども・若者育成プランの進行管理を担うよう考えたいと思います。メンバーは、関連団体、公募市民、学識経験者等を考えています。	進行管理